



平成25年8月5日

各位

上場会社名 株式会社ジーンテクノサイエンス
 代表者 代表取締役社長 河南 雅成
 (コード番号 4584)
 問合せ先責任者 取締役CFO 三ツ木 勝俊
 (TEL 03-3517-1353)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成25年5月14日付「平成25年3月期 決算短信」にて公表いたしました業績予想を、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成26年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	145	△335	△340	△341	△163.54
今回修正予想(B)	156	△381	△384	△386	△183.33
増減額(B-A)	10	△45	△44	△44	
増減率(%)	7.3	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成25年3月期第2四半期)	—	—	—	—	—

平成26年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	301	△878	△888	△891	△426.29
今回修正予想(B)	312	△965	△974	△977	△459.36
増減額(B-A)	10	△86	△85	△85	
増減率(%)	3.5	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成25年3月期)	60	△358	△373	△377	△238.20

修正の理由

本日付で公表いたしました「資本業務提携及び第三者割当による新株式発行に関するお知らせ」に記載のとおり、当社は伊藤忠ケミカルフロンティア(株)と資本業務提携を行い、対象となるバイオ後続品1品目について、開発の加速化と将来収益の向上を図ることにいたしました。

具体的には、産生効率の高い産生細胞を社外から導入するとともに、製法・品質の検討及び非臨床試験の外部委託先を従来想定していた先からグローバル対応が可能なより経験値の高い先に変更することといたしました。当該産生細胞導入のための追加費用58百万円及び外部委託先変更のための追加費用140百万円につきましては、今回の調達資金を充当する予定であります。

このため、開発期間の前倒しと開発金額の増額により、平成26年3月期の研究開発費が増加することになりますが、開発の加速化を通じて企業価値及び株主価値の向上に資するものと当社は考えております。

(注)本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(ご参考)平成26年3月期第1四半期累計期間の業績見込みの概要

当社は平成26年3月期第1四半期累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)の業績予想を算定しておりませんが、本日付で北海道財務局長に提出いたしました有価証券届出書の「第二部企業情報 第5経理の状況 (3)その他」に記載のとおり、平成26年3月期第1四半期累計期間における売上高は11,294千円となる見込みであります。なお、現時点において、平成26年3月期におけるG-CSFの納品計画に変更はなく、上記の資本業務提携に伴うものを除いて研究開発計画に重要な変更はありません。

上記の売上高の数値につきましては、決算処理確定前の暫定数値であり、変動する可能性があります。また、売上高以外の指標につきましては、現時点で算出することは困難であり、記載を行うことにより投資判断を誤らせるおそれがあるため、記載しておりません。なお、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査法人の四半期レビューは終了していません。

以上